

エチオピア月報(2017 年 4 月)

主な出来事

【内政】

- 2 日: グランド・エチオピアン・ルネッサンス・ダム建設事業開始 6 周年記念式典開催。

【外政】

- 4-6 日: バシール・スーダン大統領、エチオピアを公式訪問。
- 10-11 日: タミーム・カタール国首長がエチオピアを公式訪問。
- 22-23 日: 第 6 回タナ・ハイレベルフォーラム開催。

【経済】

- 中央統計局は、3 月のエチオピアのインフレ率が前月の 7.0%から 8.5%に上昇したと発表した。

【内政】

- 2 日、ベニシヤングル・グムズ州においてグランド・エチオピアン・ルネッサンス・ダム建設事業開始 6 周年記念式典が行われた。(2 日、EBC)

【外政】

- 4-6 日、バシール・スーダン大統領がエチオピアを公式訪問した。(4 日、EBC、The Ethiopian Herald)
- 4 日、デメケ副首相は Muller ドイツ経済協力・開発大臣と会談した。(4 日、EBC)
- 8 日、エチオピアとEUは第一回人権・統治協議をアディスアベバで開催した。(8 日、外務省プレスリリース、EBC)
- 10-11 日、タミーム・カタール国首長がエチオピアを公式訪問した。(10 日、EBC、The Ethiopian Herald)
- 11 日、ハイレマリアム首相は He Boaxiang 湖南省副知事一行と会談した。(12 日、The Ethiopian Herald)
- 12 日、ウォックナー外相は柳芳・国際民間航空機関(ICAO)事務局長と会談した。(12 日、外務省プレスリリース)
- 13 日、ハイレマリアム首相はブレア元英国首相と会談した。(14 日、The Ethiopian Herald)
- 22-23 日、第 6 回タナ・ハイレベルフォーラムが開催された。(22 日、EBC)

【経済】

1. 経済全般・財政・金融

- (日時不明) 中央統計局は、3 月のエチオピアのインフレ率が前月の 7.0%から 8.5%に上昇

したと発表した。(6日、The Daily Monitor)

2. 貿易・投資・ビジネス

- (日時不明) ノルウェーの開発途上国投資基金(Norfund)は、エチオピアの牛肉加工会社である Verde Beef Processing PLC に 740 万ドルの投資を発表した。(4日、The Daily Monitor)
- (日時不明) 食品医薬品健康管理局(FMHACA)は、海外の医薬品及び医療機器製造業者が、現地販売代理店の保有することを 3 社未満に制限した現在の輸入制限の解除を検討している。エチオピアの医薬品市場は年率約 15%で成長しており。世界保健機関(WHO)によると、現在の市場価値は 4 億米ドル以上と評価されている。現地生産された医薬品が保有する国内医薬品市場のシェアは約 20%であり、残りは輸入によって賄われている。(8日、The Reporter)
- (日時不明) 英国ディアジオ社が所有するエチオピアの醸造所 Meta Abo Brewery は、ギネス・エクストラ・スタウトのエチオピア市場への投入を発表した。(10日、The Daily Monitor)
- (日時不明) 鉱業・石油・天然ガス省は、カナダ資本民間企業 Cirium Minerals Ltd., にダナキル低地における 20 年間のカリウム鉱山採掘権と輸出権を付与した。同社は、同地で 27 億米ドルを投資し、鉱山経営を行う。ダナキル低地には、毎年 60 万トンの硫酸カリウム生産能力があると見込まれ、GDP 拡大への貢献が期待される。(9日、The Ethiopian Herald)
- (日時不明) エチオピア食肉・酪農産業開発協会によると、本会計年度直近 9 ヶ月間の当国からアラブ首長国連邦(UAE)及びサウジアラビアへの食肉輸出額が 7,200 万米ドルに達した。(16日、The Ethiopian Herald)
- (日時不明) 米国企業 Aerogenics Inc.および Pharma Project のメンバーからなる米国のビジネス代表团は、エチオピアの救急医療およびその他の医療インフラ開発への参入意欲を表明した。(18日、The Ethiopian Herald)
- 19 日、ハイレマリアム首相は、オマール・アルハブラ外務政務官率いるカナダ代表团と会談し、カナダ代表团に対し、エチオピアにおける貿易と投資の強化を促した。(20日、The Daily Monitor)
- アディスアベバ・ホテル・オーナーズ・トレード・セクター協会によると、当地のホテル業界は、非常事態宣言発令から 6 カ月間で、稼働率が 20.5%低下し、3 億 8 千万ブルの損失につながった。(22日、The Reporter)
- 10 日、エチオピア国立銀行(NBE)は、国有のエチオピア商業銀行(CBE)に全ての民間投資プロジェクトの融資承認を停止するよう指示し、同じく国有のエチオピア開発銀行(DBE)から融資を受けるように投資家に命じた。(23日、Capital)
- (日時不明) 25 日、在エチオピア中国大使館とエチオピア外交戦略研究所の共催で一帯一路構想をテーマにした会議が開催された。(26日、The Ethiopian Herald)
- (日時不明) 米国ファーストフード大手の Yum Brands Inc.は、アフリカ市場拡大の一環として、エチオピアの Belayab Food and Franchise PLC と、ピザハットレストラン 10 店舗を当地にオー

ブンする契約を結んだ。(27 日、The Daily Monitor)

3. エネルギー

- (日時不明) ウマル・アル・バシール スーダン大統領とハイレマリアム エチオピア首相は、会談後の共同記者会見において、グランド・エチオピアン・ルネッサンス・ダム (GERD) に建設中のアフリカ最大の水力発電所が完成すれば、500 キロボルト送電線を介し、同ダムからスーダンの首都ハルツームへ送電することを表明した。(7日、The Daily Monitor)
- (日時不明) エチオピア開発銀行 (DBE) は、世銀 (WB) から電力網増強プロジェクト (ENREP) の一環で未電化地域への太陽光発電導入のため確保された 2 千万ドルの融資を受けるために、民間の太陽光発電設備供給事業者が遵守すべき条件を改訂した。改訂後の条件では、融資額の 75% をソーラーホームシステム (SHS)、20% をソーラーランタン、5% をバイオガスの輸入にそれぞれ充てるよう義務づけられる。(23 日、Fortune)

4. 工業・運輸

- (日時不明) 国営の The Ethiopian Shipping & Logistics Service Enterprise (ESLSE) は、コンボルチャのドライポート移転のため、現在建設中のアワシュ・ウォルディア鉄道と工業団地に隣接する 35ha の土地を取得した。移転後は現在の 2 倍となる 1 万個のコンテナを取り扱う。来年着工し、2 年以内に完了予定。(2日、Fortune)
- (日時不明) 発注が遅れていた、アディス・アフリカ国際展示場 (AAICEC) の第 1 期建設工事を中地海外建設集団 (CGCOC) が受注した。同工事は、工期 3 年、建設費 10 億ブル以上を掛けて、会議場、2 つの展示場、劇場、レストラン、ビジネスセンター等施設を建設する。同プロジェクトは 3 期に分けて 11,000 平方メートルの敷地に、4 つの展示場、ホテル、ショッピングモール等を整備する予定。総工費は 30 億ブルを見込んでいる。(2日、Fortune)
- (日時不明) ウマル・アル・バシール スーダン大統領とハイレマリアム エチオピア首相は、会談後の共同記者会見において、エチオピアとポートスーダンを結ぶ鉄道建設及び自由貿易特区の設立を発表した。(5日、The Ethiopian Herald)
- (日時不明) アディスアベバ市交通局は、公共交通機関多様化のため、バス・ラピッド・トランジット (BRT) の設計に着手したと発表した。(8日、The Ethiopian Herald)
- (日時不明) エチオピア・中国投資協力フォーラムのため当地を訪れた何報翔湖南省副省长とハイレマリアム首相との会談が行われ、首相は、エチオピア・湖南工業団地の実現に必要なすべての支援を政府が提供することを強調した。(12 日、The Ethiopian Herald)
- 10 日、エチオピア・中国投資協力フォーラムが開催され、アダマにおけるエチオピア・湖南工業団地建設に関する覚書が締結された。同工業団地は、総面積 122 ヘクタールを有する機械製造専門の工業団地として今年下半期に着工する。建設費は中国輸出入銀行から 2 億 5 千万米ドルの融資を受ける予定。(15 日、The Reporter)
- (日時不明) 当地民間企業の Habesha S.C. は、アディスアベバ北西の Holeta に 1 億 5,500 万米ドルを投じて年生産能力 1,600 万トンのセメント工場を発足させた。同工場は南アフリカ

の Pretoria Portland Cement 社の技術指導を受け、中国の北方重工集団により建設された。エチオピアのセメント生産能力は 10 年前から 180 万トン向上し、年 1,640 万トンとなったが、今後 2020 年までに年 2,700 万トンまで引き上げる。(20 日、The Daily Monitor)

- (日時不明) アディスアベバ市交通局は、公共交通機関改善の一環として、750 台の市内バス製造契約を、メタル・アンド・エンジニアリング・コーポレーション(Metec)に、34 億ブルで発注した。Metec 社は中国の鄭州宇通客車(Yu-tong)から連接バス 50 台、低床バス 200 台、高床バス 500 台を輸入、当地で組立を行い、市内バス委託事業者のアンベサバスサービス社に納入する。(23 日、Fortune)
- (日時不明) 運輸省は、人民代表院に今年度 9 か月間の実績報告を提出した。アフメド・シデ運輸大臣の議会報告によると、同期間に 216 の道路建設プロジェクトに 115 億ブルを執行し、アディス・アダマ高速道路の売上額として 53 万 9 千ブルを計上、69,932 台の自動車を輸入した。また、エチオピア航空について、旅客と貨物の運搬能力強化を達成し、旅客機 8 機と訓練機 5 機を購入した。(26 日、The Ethiopian Herald)

5. その他

- (日時不明) 世銀グループ理事会は、エチオピアの開発アジェンダ支援のため 6 億 4,500 万米ドルの融資を承認した。このうち、4 億 4,500 万ドルは、アディスアベバと 22 の地方都市における給水・衛生サービスの向上に充てられる。残りは、エチオピア産業の競争力向上を目的とした国家品質基盤(NQI)開発プロジェクトにおいて貿易輸送効率の向上に充てられる。(4日、The Ethiopian Herald)
- 11 日、エチオピアと国連開発計画(UNDP)は、「エチオピア平和支援訓練センター(PSTC)強化プロジェクト」に関する文書作成に合意した。同プロジェクトは、日本政府が 18 万米ドルを提供する日 UNDP パートナリーシップ基金を通じて支援を行っている。(12 日、The Ethiopian Herald)
- (日時不明) 国連開発計画(UNEP)の新しい報告書によると、エチオピアの人間開発指数(HDI)は大幅に上昇したが、同国の順位は 188 か国中 174 位と依然として人間開発分野において低水準にある。(17 日、The Daily Monitor)
- (日時不明) エチオピア出身の医療従事者の団体である Ethio-American Doctors Medical Group が建設するメディカル・シティ・センターの第 1 期工事起工式が行われた。同センターは、病床 300 床、手術室 8 つ、ラボ 2 つ、診察室 80 室の外来病棟とがん治療センターを計画している。(21 日、The Ethiopian Herald)
- (日時不明) ムゼベニ ウガンダ大統領を含むアフリカの著名な指導者がティグライ州アドワに建設されるパンアフリカン大学の設立式典に出席した。(25 日、The Daily Monitor)
- 25 日、オロミア州アダマ市の縫製訓練センターの建設プロジェクトの完工式が開催された。同センターは、日本大使館の草の根・人間の安全保障無償資金協力により、10 万 160 米ドルの援助を受けて建設された。(27 日、The Daily Monitor)

6. 各国動向

- (日時不明) 当地ノルウェー大使は、ソマリ州ドロー難民キャンプを視察し、干ばつによりエチオピアに逃がれた難民への支援を約束した。(5日、The Ethiopian Herald)
- (日時不明) 中国は、農業技術職業教育訓練(ATVET)の教育水準向上のため、エチオピアと協力している。2001年に設立された ATVET プログラムを通じて、これまでに約 1,800 人の現地教師、500 人の農業技術者、35,000 人の学生が中国人専門家によって指導された。現在、アラゲ、アガルファ、アルデタ、ミザナ、およびゲワネの ATVET の訓練校で 2,855 人のエチオピア人研修生が講習を受けている。(15 日、The Ethiopian Herald)
- (日時不明) ドイツは、難民及び干ばつ被害者の生活水準を向上させる 3 つの人道プロジェクトのため 360 万ユーロの資金援助を行うと発表した。(20 日、The Daily Monitor)